

森林・林業の現状と取組

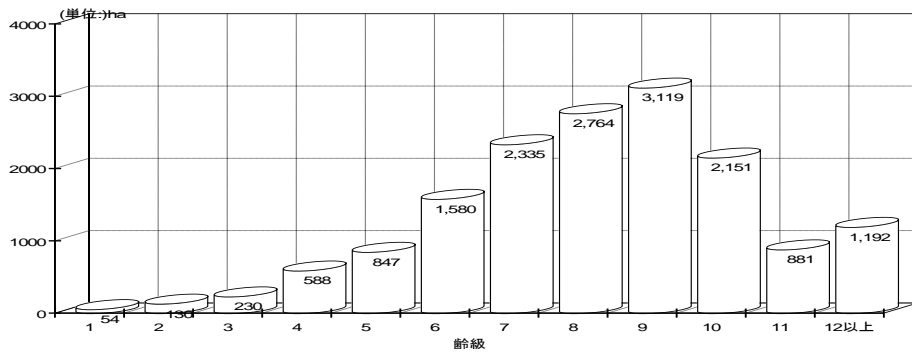
(1)日野郡の森林の現状

- 日野郡の林野面積は52,750haと総面積の87.3%を占めている。
- 民有林のうちスギ・ヒノキ等の人工林は31,093haで、人工林率は62.1%である。
- スギ・ヒノキの人工林資源は7から9齢級に団塊的に存在しており、間伐等の保育とともに、資源の有効活用が求められている。

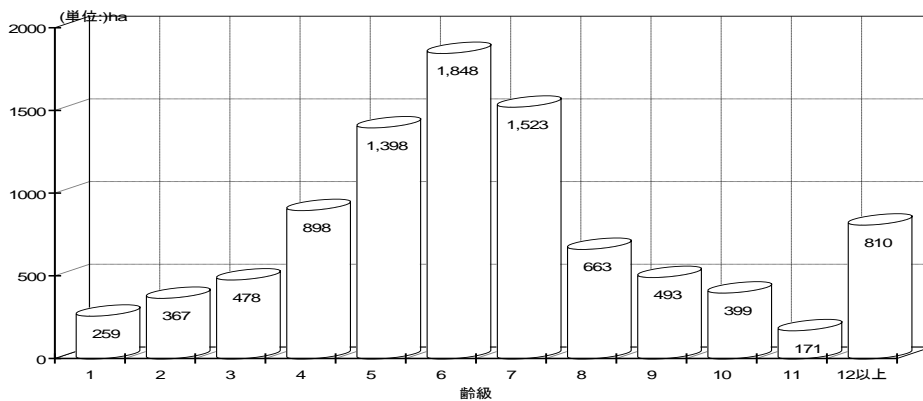
区分	土地面積	林野面積			林野率	民有林内訳			
		国有林	民有林	計		人工林	天然林	その他	人工林率
日南町	34,087	1,311	29,146	30,457	89.4	18,298	10,548	300	62.8
日野町	13,402	375	11,655	12,030	89.8	8,024	3,425	206	68.8
江府町	12,466	984	9,279	10,263	82.3	4,771	4,257	251	51.4
局計	59,955	2,670	50,080	52,750	88.0	31,093	18,230	757	62.1
全県	350,726	32,104	227,781	259,885	74.1	123,220	97,311	7,249	54.1

出典：平成21年度鳥取県林業統計

齢級構成(スギ)



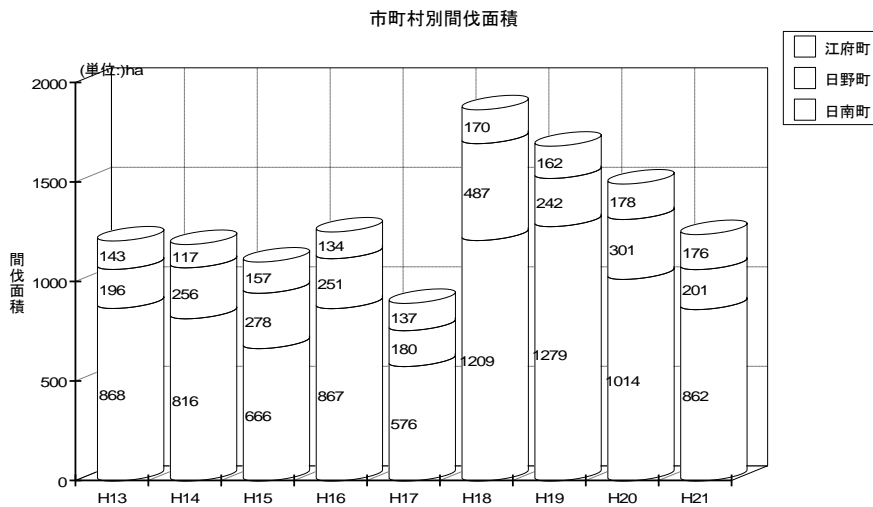
齢級構成(ヒノキ)



出典：平成21年度鳥取県林業統計

(2)間伐の推進

- 森林の適正な管理を確保するため、間伐の推進に取り組んでいる。
- 間伐材の有効活用を推進するため、平成13年度から「間伐材搬出促進事業」(単県)を実施し、間伐材の市場への運搬・出荷経費に補助(H18まで4,300円/m³、H19~20が4,000円/m³、H21が3,900円/m³、H22が3,800円/m³)してきた。平成22年度日野郡では、対前年比117%の約5万m³の間伐材が搬出された。
- 「低コスト林業推進事業」(国庫・単県)等を活用することにより、搬出用機械の導入を支援し、搬出コストの低減を図っている。



出典: 林業振興課業務資料

間伐材搬出促進事業の実績

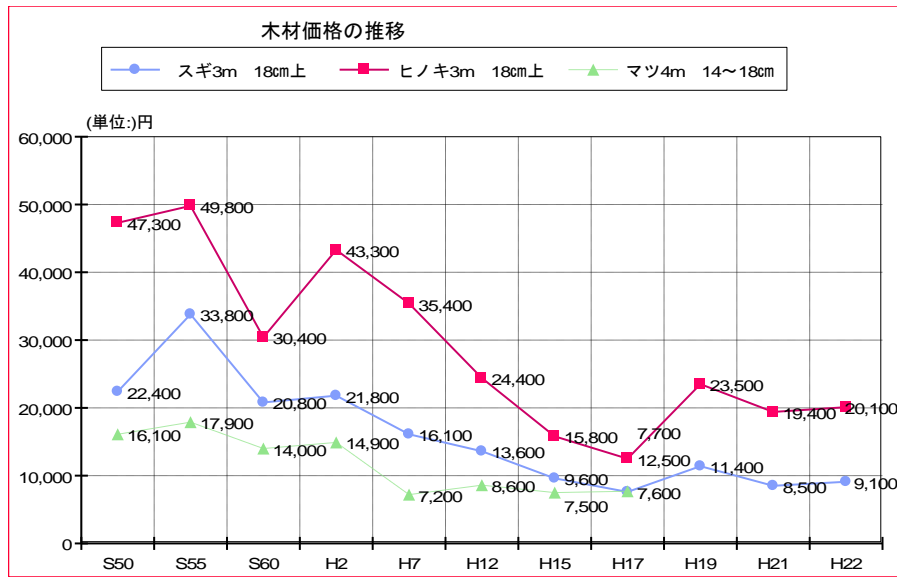
(単位: m³、千円、%)

	H13	H15	H17	H19	H20	H21	H22
管内	材積(m ³)	21,585	31,030	19,101	25,489	44,787	43,383
	金額(千円)	92,816	133,430	82,136	101,956	179,146	169,192
	シェア(%)	63	70	63	60	62	50
全県	材積(m ³)	34,212	44,173	30,485	42,226	72,643	86,600
	金額(千円)	147,111	189,941	131,086	168,905	290,571	337,739

出典: 林業振興課業務資料

(3)木材価格の推移

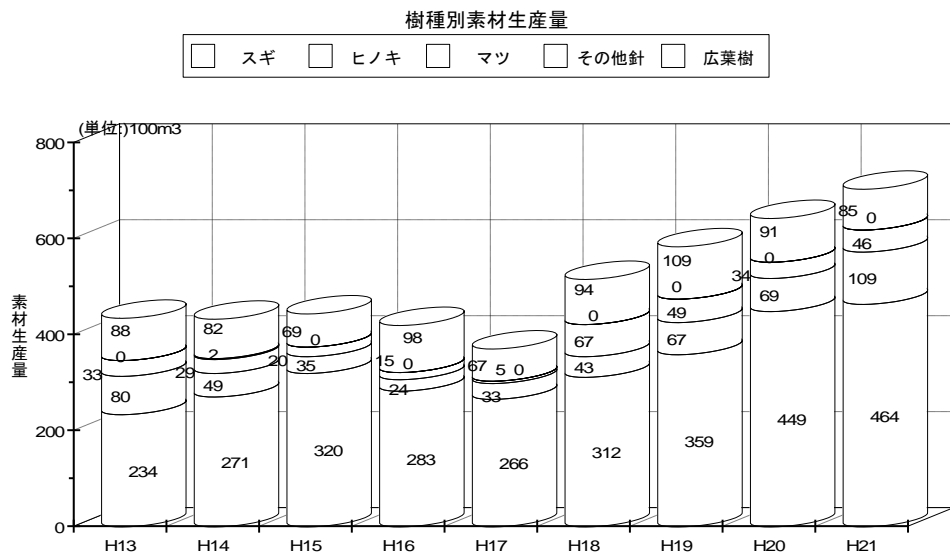
- 木材価格は最高値(昭和55年)の約1/3で推移している。
- 近年、針葉樹合板の原材料が外材から国産材にシフトするなどの傾向が進み、価格に底打ち感も見られたが、直近では、未曾有の不況の影響を受け再び下落傾向が認められる。



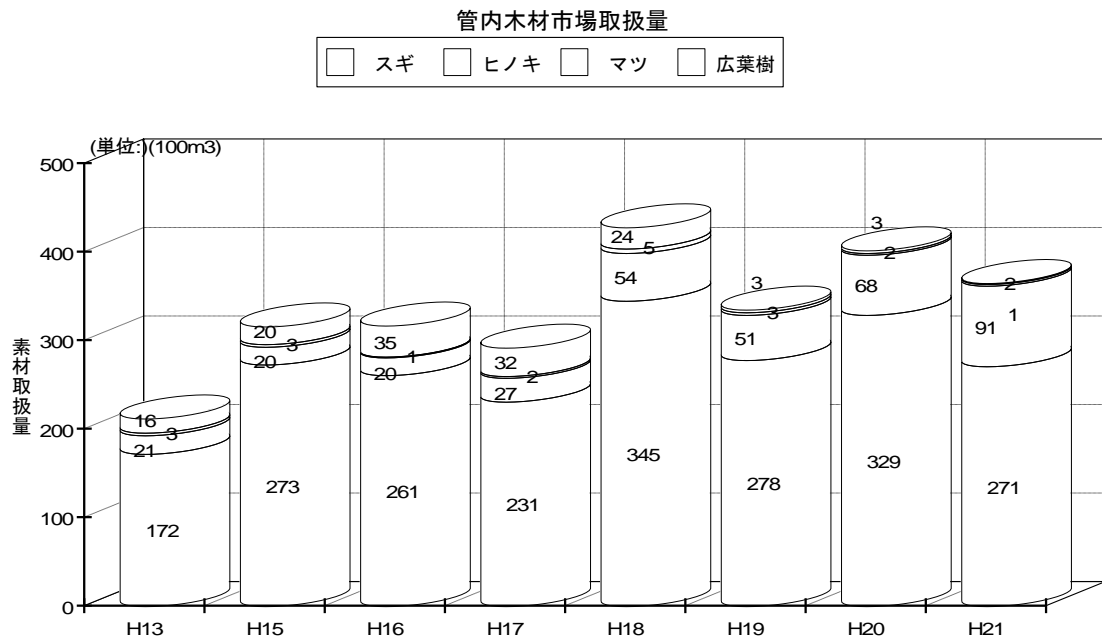
出典：平成21年度鳥取県林業統計

(4)地域材の供給

- 引き続き材価の低迷を受けて、主伐(皆伐)を控える傾向に依然変わりはなく、間伐材の生産が中心となっている。
- 管内の素材生産量は、「間伐材搬出促進事業」への積極的な取組により、H18頃から年々増加し、H21は7万m³を上回る生産量となった。これは昭和57年以来のこと。
- 管内では、H20.4に操業を始めた株式会社オロチ(LVL製造工場)への安定供給を目指し、市場を介さないで直接納入するなど、定価格・定時納入・定量出荷に向けた取組も見られる。



出典：平成21年度鳥取県林業統計



出典：林業振興課業務資料

(注) 日野郡内の原木の流れ 別添資料 1

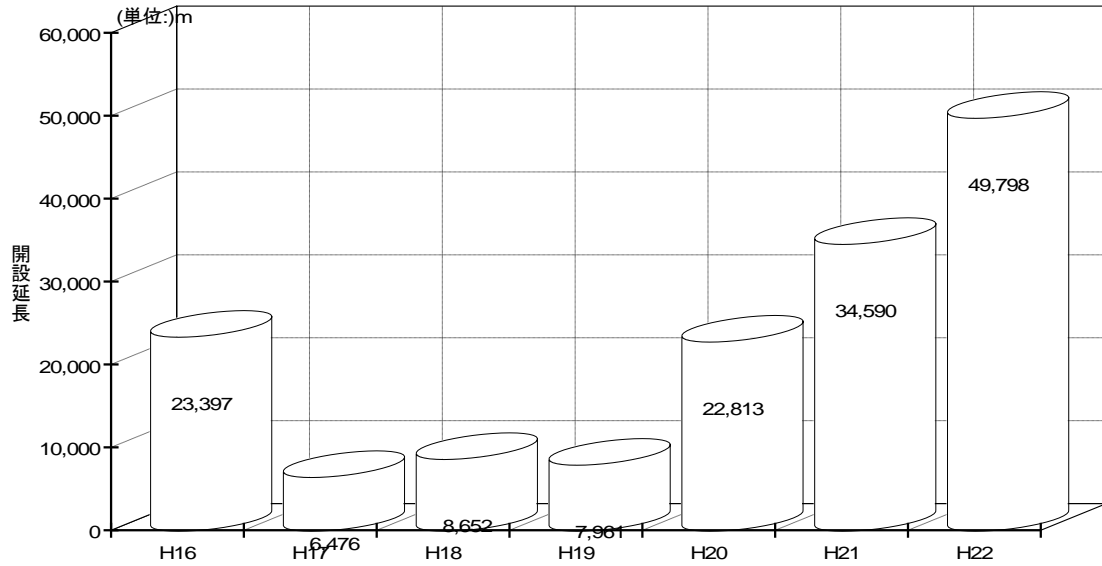
(5)森林路網の整備

- 管内では、路網整備の骨格となる森林基幹道4路線(宝仏山1号、宝仏山2号、窓山線、行者山線)の開設を進めている。
- 「路網整備地域連携整備事業」(国庫)、林業再生事業(単県)等により、間伐など森林施業の推進や素材生産コストの低減に不可欠な作業路網の整備を進めている。

路線名	位置	延長	事業費	工期	開設済延長(H22末)	開設計画(H23以降)
森林基幹道 宝仏山1号	江府町俣野 ～武庫	6,900	2,322,365	H元～H28	4,756	2,144
森林基幹道 宝仏山2号	日野町金持	7,990	2,058,278	H元～H28	4,143	3,847
森林基幹道 窓山線	日南町新屋 ～上萩山	17,233	4,323,960	H8～H34	7,883	9,350
森林基幹道 行者山線	南部町徳長 ～大木屋	20,600	4,893,000	H4～H35	14,025	6,575

出典：林業振興課業務資料

作業道開設実績

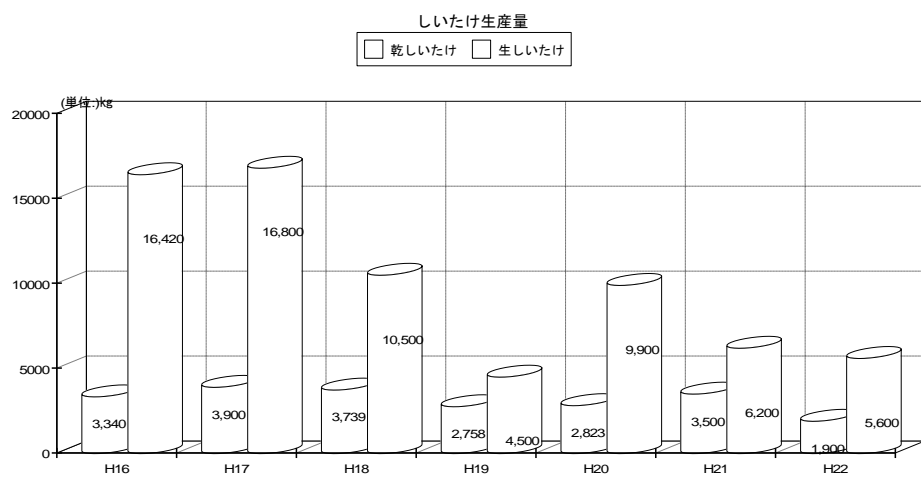


出典：林業振興課業務資料

(6)しいたけの生産

○乾しいたけ生産は、近年の自然健康食品の嗜好の高まりなどを受け、比較的に高値で安定して推移しているが、生産者の高齢化と後継者不足、原木入手の困難化などから、生産量は減少傾向にある。

○菌床栽培に企業が参入するなどの動きがあるものの、生しいたけ生産も同様に減少傾向にある。



出典：林業振興課業務資料

10 森林の現状

- 1 日野郡3町の総土地面積59,955haのうち、森林及び原野面積（以下、林野面積という。）は、52,364ha、率にして87.3%を占めている。これは、県平均の73.8%に比べかなり高い値である。
- 2 民有林野面積の内訳は、スギ、ヒノキ、マツ等の人工林は30,755haで、民有林野面積の約62%を人工林が占めており、日野郡の自然環境、社会環境を考える上で重要な因子となっている。
- 3 山村の過疎化・高齢化の進展等による手入れ不足のため、間伐作業が遅れ気味で不健全な人工林の増加が危惧されている。
- 4 このため県では、これらの森林を健全に育成するため、県独自の取組として「間伐材搬出促進事業」や、「森林環境保全税」を財源とする「とっとり環境の森づくり事業」等を実施し、積極的な間伐推進を行っている。
- 5 施業の集約化や機械化と路網の整備による低コスト林業を推進するため、高性能林業機械の導入として平成19年度から「鳥取県林業再生事業」、平成21年度に創設された「鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業」に取り組むとともに、基幹となる作業道の整備として平成21年度から「路網整備地域連携推進事業」などに取り組んでいる。
- 6 環境貢献意識の高い企業等と県・町が協定を締結し、手入れの遅れている森林の整備を協働して行なう「とっとり共生の森育成支援事業」に取り組んでいる。

(参考)森林の概況

(単位:ha、%)

区分	土地面積	林野面積				民有林内訳			
		国有林	民有林	計	林野率	人工林	天然林	その他	人工林率
日南町	34,087	1,311	29,036	30,347	89.0	18,107	10,629	298	62.4
日野町	13,402	376	11,533	11,909	88.9	7,909	3,416	207	68.6
江府町	12,466	870	9,238	10,108	81.1	4,739	4,251	247	51.3
局計	59,955	2,557	49,807	52,364	87.3	30,755	18,296	752	61.7
全県	350,720	32,374	226,293	258,667	73.8	122,321	97,115	6,857	54.1

注1 対象森林とは地域計画対象森林である。

2 人工林率は、民有林野面積に対する比率である。

3 対象森林内の面積は四捨五入のため総数とは一致しない。

○「とっとり共生の森」活動概要（日野郡内）

(H22.9. 現在)

企 業 名	協定締結日	森林の所在地	面積 (ha)	協定期間
(株)山陰合同銀行	H18.08.28	江府町助澤・俣野	26.1	10年
サントリーホールディングス(株)	H19.06.04	江府町御机	88.2	30年
日本通運(株)	H21.10.23	日南町神戸上	35.4	5年
サントリーホールディングス(株)	H22.08.09	江府町御机	37.8	30年
※全県 14社		16箇所	325.7	